



平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスプール

コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 浦上 壮平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当

(氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

四半期報告書提出予定日 平成27年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第1四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	1,661	11.5	△22	—	△24	—	△27	—
26年11月期第1四半期	1,489	22.8	17	—	14	—	10	—

(注)包括利益 27年11月期第1四半期 △27百万円 (—%) 26年11月期第1四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第1四半期	△9.07	—
26年11月期第1四半期	4.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
27年11月期第1四半期	1,996	35.0	699	35.0	232.62	35.0	232.62	
26年11月期	2,155	35.1	756	35.1	251.66	35.1	251.66	

(参考)自己資本 27年11月期第1四半期 698百万円 26年11月期 755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,488	7.7	91	△25.9	85	△28.1	70	△30.0	23.31
通期	7,300	10.5	226	9.4	214	11.8	181	9.6	60.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年11月期1Q	3,003,400 株	26年11月期	3,003,400 株
27年11月期1Q	62 株	26年11月期	62 株
27年11月期1Q	3,003,338 株	26年11月期1Q	2,672,336 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、本日(平成27年4月2日)、当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、国内の消費については足踏み状態が続いているものの、企業収益については、米国等の海外需要の復調の恩恵を受けた輸出企業を中心に製造業の生産が回復しており、国内景気は概ね持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような国内企業の収益改善を背景に人材不足感が継続しており、厚生労働省が発表した平成27年2月の全国の有効求人倍率は1.15倍と、1倍を超える高水準な状況が1年以上続いております。幅広い業種で求人が増加し、特に最近では医療・福祉、製造業や小売業において求人数が増加しております。

このような環境の下、当社グループは、当連結会計年度の事業方針である、コアマーケットの深耕・主力事業の再強化と新たな収益の柱の構築の2点に絞って事業を推進しております。主力事業については、前述の通り企業業績が回復していることもあり、人材派遣サービスとロジスティクスアウトソーシングサービスを中心に需要が好調に推移し、売上が順調に拡大しました。一方、損益面については、主力事業の業容拡大と新規事業の強化のために積極的に人員を増員したため、人件費を中心に販売費および一般管理費が大きく増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,661,191千円（前年同期比11.5%増）、営業損失は22,756千円（前年同期は17,682千円の営業利益）、経常損失は24,593千円（前年同期は14,413千円の経常利益）、四半期純損失は27,236千円（前年同期は10,833千円の四半期純利益）と増収ながら営業損益以下、損失を計上することとなりました。

（単位：千円）	平成26年11月期 第1四半期	平成27年11月期 第1四半期	増減率
売上高	1,489,526	1,661,191	11.5%
営業損益	17,682	△22,756	－%
経常損益	14,413	△24,593	－%
四半期純損益	10,833	△27,236	－%

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールエコロジーにてフィールドマーケティングサービスを、株式会社エスプールセールスサポートにてマーチャンダイジング及び販売促進等のサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスが順調に拡大しました。通販事業者向けの共同配送センターが満床に近い状態で稼働したほか、訪日客増加の影響で百貨店向けの物流センターの物量が増加したため、売上が大きく伸張しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は663,374千円（前年同期比12.2%増）、営業利益は21,590千円（前年同期比50.4%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、前述の通り企業の人材不足感が強まっており、主力のコールセンター業務において需要が好調に推移しました。一方、損益面においては、逼迫する人材の採用市場の影響により売上総利益率がやや低下したほか、通信関連の大型案件を見込んで人員を中心に組織強化を図ったため、販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,007,032千円（前年同期比9.4%増）、営業利益は58,781千円（前年同期比21.6%減）となりました。

平成27年11月期 第1四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成26年11月期 第1四半期	平成27年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	1,511,357	1,670,407	10.5%
ビジネスソリューション事業	591,187	663,374	12.2%
人材ソリューション事業	920,169	1,007,032	9.4%
調整額	△21,830	△9,215	－%
合計	1,489,526	1,661,191	11.5%

営業利益（単位：千円）	平成26年11月期 第1四半期	平成27年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	89,362	80,372	△10.1%
ビジネスソリューション事業	14,359	21,590	50.4%
人材ソリューション事業	75,002	58,781	△21.6%
調整額	△71,679	△103,128	－%
合計	17,682	△22,756	－%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から195,501千円減少し、1,544,266千円となりました。法人税等や消費税等の納付等により、現金及び預金が104,371千円減少したほか、会計期間末前が閑散期に当たるため、売掛金が99,389千円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から36,633千円増加し、452,391千円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて第三農園を建設しており、有形固定資産が25,410千円増加しました。また、グループ基幹業務システム等への改修投資により無形固定資産が11,335千円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から87,253千円減少し、1,169,571千円となりました。短期借入金を100,000千円借り増ししておりますが、納税により未払法人税等が44,264千円、未払消費税等が85,527千円、それぞれ減少しております。また、未払賞与の支給により、未払費用が27,151千円減少しました。また、この他に買掛金が26,742千円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から14,417千円減少し、127,998千円となりました。約定弁済により、長期借入金が14,487千円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当の支払及び四半期純損失により57,197千円減少し、699,087千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、障がい者雇用支援サービスの第三農園の開園の遅れにより、損益面において計画をやや下回っておりますが、第2四半期会計期間以降に開園できる見込みであります。この障がい者雇用支援サービスを含め、主力事業の需要見込みに大きな変化はなく、今後も期初方針を粛々と実行していくことから、連結業績予想については前回発表の水準になるものと判断しております。

従いまして、平成27年1月14日に公表いたしました平成27年11月期通期連結業績予想については、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,288	714,917
受取手形及び売掛金	778,561	679,172
商品	6,937	5,797
仕掛品	508	2,844
その他	145,718	150,668
貸倒引当金	△11,246	△9,134
流動資産合計	1,739,767	1,544,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	215,090	221,022
その他(純額)	61,562	81,040
有形固定資産合計	276,652	302,062
無形固定資産		
	45,550	56,885
投資その他の資産		
その他	124,083	123,857
貸倒引当金	△30,528	△30,415
投資その他の資産合計	93,555	93,442
固定資産合計	415,758	452,391
資産合計	2,155,525	1,996,657
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,620	78,878
短期借入金	310,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	75,270	66,936
未払法人税等	47,694	3,429
未払費用	338,793	311,641
賞与引当金	8,148	15,678
役員賞与引当金	14,600	-
その他	356,698	283,007
流動負債合計	1,256,825	1,169,571
固定負債		
長期借入金	109,430	94,943
資産除去債務	26,353	26,423
その他	6,632	6,632
固定負債合計	142,415	127,998
負債合計	1,399,241	1,297,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,138	351,138
資本剰余金	201,138	201,138
利益剰余金	202,797	145,528
自己株式	△53	△53
株主資本合計	755,020	697,750
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	809	882
その他の包括利益累計額合計	809	882
新株予約権	454	454
純資産合計	756,284	699,087
負債純資産合計	2,155,525	1,996,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
売上高	1,489,526	1,661,191
売上原価	1,154,377	1,297,136
売上総利益	335,149	364,055
販売費及び一般管理費	317,467	386,812
営業利益又は営業損失(△)	17,682	△22,756
営業外収益		
受取利息	122	126
受取手数料	104	214
還付消費税等	1,358	-
その他	35	73
営業外収益合計	1,621	414
営業外費用		
支払利息	3,539	2,029
社債利息	101	-
持分法による投資損失	808	222
その他	441	-
営業外費用合計	4,890	2,251
経常利益又は経常損失(△)	14,413	△24,593
特別損失		
固定資産除却損	-	122
特別損失合計	-	122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,413	△24,715
法人税、住民税及び事業税	3,579	2,520
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	3,579	2,520
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	10,833	△27,236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,833	△27,236

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	10,833	△27,236
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△72	72
その他の包括利益合計	△72	72
四半期包括利益	10,761	△27,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,761	△27,163
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	587,991	901,535	1,489,526	—	1,489,526
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,196	18,634	21,830	△21,830	—
計	591,187	920,169	1,511,357	△21,830	1,489,526
セグメント利益	14,359	75,002	89,362	△71,679	17,682

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,679千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,679千円であり
ます。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	660,318	1,000,872	1,661,191	—	1,661,191
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,056	6,159	9,215	△9,215	—
計	663,374	1,007,032	1,670,407	△9,215	1,661,191
セグメント利益	21,590	58,781	80,372	△103,128	△22,756

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,128千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,427千円及び
セグメント間消去△1,701千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。